

2020.6.27

畑 啓之

技術士一次試験基礎科目 この問題が難しい R01 製図作成規則

令和1年

I-1-3 設計者が製作図を作成する際の基本事項に関する次の(ア)～(オ)の記述について、それぞれの正誤の組合せとして、最も適切なものはどれか。

- (ア) 工業製品の高度化、精密化に伴い、製品の各部品にも高い精度や互換性が要求されてきた。そのため最近では、形状の幾何学的な公差の指示が不要となってきた。
- (イ) 寸法記入は製作工程上に便利であるようにするとともに、作業現場で計算しなくても寸法が求められるようにする。
- (ウ) 限界ゲージとは、できあがった品物が図面に指示された公差内にあるかどうかを検査するゲージのことをいう。
- (エ) 図面は投影法において第二角法あるいは第三角法で描かれる。
- (オ) 図面の細目事項は、表題欄、部品欄、あるいは図面明細表に記入される。

| | ア | イ | ウ | エ | オ |
|---|---|---|---|---|---|
| ① | 誤 | 誤 | 誤 | 正 | 正 |
| ② | 誤 | 正 | 正 | 正 | 誤 |
| ③ | 正 | 誤 | 正 | 誤 | 正 |
| ④ | 正 | 正 | 誤 | 正 | 誤 |
| ⑤ | 誤 | 正 | 正 | 誤 | 正 |

R01-1-1-3 正答 ⑤

(ア) 工業製品の高度化、精密化に伴い、製品の各部品にも高い精度や互換性が要求されてきた。そのため最近では、形状の幾何学的な公差の指示が必要となってきた。

(エ) 図面は投影法においては第三角法で描かれる。

過去の同じ問題

H26-1-1-6 と H29-1-1-5 と R01-1-1-3

「図面の投影法は第三角法」

これが本問題のキーワードです。